

可動式ホーム柵の設置により転落事故を防ぐ

Osaka Metroは、全駅のホーム柵設置を目指し取り組んでいます。

ホーム柵の設置

お客さまの線路への転落を防ぐための可動式ホーム柵を設けており、引き続き整備拡充に努めています。

現在は、御堂筋線の心齋橋駅、天王寺駅と千日前線、長堀鶴見緑地線、今里筋線、南港ポートタウン線の全駅にて設置が完了しています。



可動式ホーム柵の整備スケジュール

| | |
|---------------|------------------------------------------|
| 御堂筋線 | 全20駅で、2021年度までに完了 (心齋橋駅・天王寺駅には既に設置済み) |
| 谷町線 | 全26駅で、2025年度までに完了 |
| 四つ橋線 | 全11駅で、2025年度までに完了 |
| 中央線 | 全14駅で、2024年度までに完了 |
| 堺筋線 | 全10駅で、2025年度までに完了 |
| 千日前線 | 全14駅 |
| 長堀鶴見緑地線 | 全17駅 |
| 今里筋線 | 全11駅 |
| 南港 ポートタウン線 | 全10駅 |

} 全駅で既に設置済

2018年度の鉄道事故等の発生状況と対応

2018年度には鉄道事故等が22件発生し、その内訳は鉄道運転事故が11件、輸送障害11件、電気事故及びインシデントは0件でした。

鉄道運転事故11件は、全て鉄道接触事故でした。輸送障害11件の内訳は、電気施設の障害によるものが3件、土木施設の障害によるものが1件、車両の障害によるものが1件、自然災害や自殺等の外部の要因によるものが6件でした。

鉄道事故等の原因は様々ですが、お客さまに安心してご利用いただけるよう、一つひとつの事象について原因を究明して対策を立て、再発防止に取り組んでまいります。

鉄道事故発生件数の推移

